令和７年度入学

学 生 募 集 要 項

総 合 型 選 抜

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

目　　次

宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）　・・・・・・・　1
1　総合型選抜の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
2　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
3　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
4　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
5　インターネット出願時の登録の誤りについて　・・・・・・・・・・・・・・・11
6　特別の配慮を要する入学志願者の事前相談　・・・・・・・・・・・・・・・・12
7　選抜方法・試験日時等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
8　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
9　入学手続・初年度納入金等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
10　授業料等の減免・奨学金等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
11　入学準備　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
12　試験成績の開示　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
13　試験成績等の個人情報について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
試験会場案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

【令和７年度入学者選抜について】

社会情勢等によりやむを得ず選抜方法や選抜日程に変更が生じる場合は、速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。

https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/

宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

宮城大学

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

宮城大学は、地域社会の発展に主体的に貢献できる資質と能力を持った人間性豊かな人材育成を目指しています。このような人材は、高い人間力を備え、広く深く学び続ける力を基盤として、専門的な知識や技能を身につけ、将来にわたって地域社会の進歩に柔軟に対応し、それに貢献できる能力を備えた人材であると考えています。

【入学者に求める能力は何か】

宮城大学が教育目標で掲げる人材を育成するためには、高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の内容をしっかりと身につけていることが望まれます。特に、本学は科学技術による実社会への貢献を目指した「高度な実学」を理念として掲げていますので、理数科目の積極的な習得が望まれます。また、「グローバルな視点」を持つという理念も掲げていますので、コミュニケーション・ツールとしての基礎的な英語力の習得が望まれます。

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

宮城大学が求める学生を選抜するため、学群・学類ごとに選抜試験を実施します。詳細は各学群のアドミッション・ポリシーを参照してください。

看護学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

看護学群は、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考とマネジメント能力を持ち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域の人々、多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

（1）人間に対する深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
（2）人間の生命と活動に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する科学的思考力
（3）対象者のニーズに即したケアを創造的に実践する創造的実践力
（4）人と組織の中で、主体的にヘルスケアシステムを形成する基礎的なマネジメント能力
（5）関連分野と協働し、国内外の保健医療福祉の課題に貢献できる基礎的な学際性・国際性

【入学者に求める能力は何か】

看護学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

（1）人や地域社会、看護に関心を持っている人
（2）人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人
（3）科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
（4）国の内外を問わず、看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

看護学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

（1）一般選抜では、大学入学共通テストの６教科８科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、論説（※１）、面接（※２）の試験により、志望分野に必要な学力や資質、主体性等を評価します。

（2）学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの６教科７科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※３）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
（3）総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第１次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※４）による第２次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
（4）帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

事業構想学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

事業構想学群では、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

（1）社会の中で他者を理解し、社会の発展に主体的に貢献する自立した人間として必要な総合力
（2）人間や社会に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する能力
（3）学群に共通する基礎的な知識・技術と専攻した学類の専門知識・技術
（4）地域社会や企業での体験や協働を通じ、自ら課題を発見し、主体的に行動する実践力
（5）地域や世界の歴史、文化を学ぶとともに、交流・協働を通して地域やグローバルで活動する能力

【入学者に求める能力は何か】

事業構想学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

（1）地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
（2）大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって、具体的な行動をともなって地域社会の課題を主体的に解決し、貢献することを目指す人
（3）事業構想（プロジェクト・デザイン）の分野でイノベーションをデザインすることにより、来るべき社会における新たな展開に貢献することを目指す人

加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

＜事業プランニング学類＞

新たな発想に基づき、実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

＜地域創生学類＞

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち、その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに、地域活性化を目指すまちづくりや産業育成、それを動かす人・組織のデザイン、そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

＜価値創造デザイン学類＞

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

事業構想学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

（1）一般選抜では、大学入学共通テストの６教科８科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、論説（※１）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。

（2）学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの６教科７科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※３）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。

（3）総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第１次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※４）による第２次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。

（4）帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

食産業学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

食産業学群では、食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

（1）食産業に関する幅広い専門的知識と技術

（2）地域社会から世界レベルまで様々なレベルでの食に関する課題発見力

（3）食に関する課題解決の実践力

（4）課題解決法の世界への発信力

【入学者に求める能力は何か】

食産業学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

（1）食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人

（2）論理的に考える力を修得し、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に取り組みたい人

（3）地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人

加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

＜生物生産学類＞

生物資源開発や生産環境技術、経営を通して、持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち、食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

＜フードマネジメント学類＞

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

食産業学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

（1）一般選抜では、大学入学共通テストの６教科８科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、理科の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。

（2）学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの６教科７科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※３）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。

（3）総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第１次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※４）による第２次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。

（4）帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

※１　論説では、記述式の試験により、事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く力等を多角的に評価します。

※２　看護学群一般選抜の面接では、看護職を志す意欲、看護職の基礎的な適性である人に対する態度や社会性、コミュニケーション能力などを評価します。

※３　学校推薦型選抜の面接では、主に以下の能力を評価します。

・高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質

※４　総合型選抜の面接（口頭試問を含む。）では、主に以下の能力を評価します。

・高等学校までの基礎的な学習成果

・高等学校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

1　総合型選抜の概要

本学のアドミッション・ポリシーに基づき、これまでの学習に基づく学力の基盤や、高校等での探究的活動に裏付けされた課題発見・解決能力に加えて、自身の興味や関心に基づいた、学類での学修に対する強い意欲や高い資質を評価するため、以下のとおり総合型選抜として募集します。

STEP 1	出願書類の準備	令和６年７月２５日（木）～
STEP 2	インターネット出願の登録期間 （入学者選抜手数料の支払期間）	令和６年９月１８日（水） ～令和６年１０月２日（水）【午後５時まで】
STEP 3	出願に必要な書類の提出期間	令和６年９月２５日（水） ～令和６年１０月２日（水）【期間内必着】
STEP 4	第１次選考 選抜期日	令和６年１０月２０日（日）
STEP 5	第１次選考 合格発表	令和６年１１月１日（金）
STEP 6	第２次選考 選抜期日	令和６年１１月１６日（土）　１日目 令和６年１１月１７日（日）　２日目
STEP 7	第２次選考 合格発表	令和６年１１月２９日（金）
STEP 8	入学手続期間	令和６年１２月２日（月） ～令和６年１２月９日（月）【期間内必着】

入学前の学修や本学入学後の指導の参考とするため、令和７年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験し、自己採点結果を指定の期日までに報告する必要があります。大学入学共通テストの出願期間については、大学入試センターが発表する実施要項を確認してください。（本学の指定受験教科・科目は１８ページに記載）

また、入学前教育を実施します。

2　募集人員

学群	学類	募集人員
看護学群	看護学類	８人
事業構想学群	事業プランニング学類	８人
	地域創生学類	８人
	価値創造デザイン学類	８人
食産業学群	生物生産学類	８人
	フードマネジメント学類	８人
計		４８人

3　出願資格

平成１４年４月２日以後に出生し、かつ次の（1）から（4）までのいずれかに該当する方で、志望する学類に対し熱意と適性を有し、合格した場合には必ず入学することを確約できる方とします。

（1）高等学校を卒業した方又は令和７年３月に卒業見込みの方
（2）中等教育学校を卒業した方又は令和７年３月に卒業見込みの方
（3）通常の課程による１２年の学校教育を修了した方又は令和７年３月に修了見込みの方
（4）学校教育法施行規則第１５０条（第６号を除く。)の規定に基づき高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方又は令和７年３月３１日までにこれに該当する見込みの方

なお、学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により本学へ出願を希望する方は、令和６年７月２５日（木）から令和６年８月９日（金）までに「宮城大学入学資格審査実施要項」に基づく資格審査を受け、認定を受ける必要があります。

詳細については、宮城大学アドミッションセンター（022-377-8333）までお問い合わせください。

4　出願手続

（1）出願手順・方法

出願手続の手順・方法は以下のとおりです。

STEP1	**事前準備**	出願手続を始める前に、8ページの「（5）事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
▼		
STEP2	**インターネット出願登録**	パソコン等で本学ウェブサイトからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力、登録してください。
▼		
STEP3	**自己申告書の登録（入力）**	インターネット出願サイトから専用サイト（J-Bridge System）にアクセスし、所定の項目を登録（入力）してください。
▼		
STEP4	**入学者選抜手数料の支払い**	インターネット出願サイトの指示に従って、入学者選抜手数料を支払ってください。
▼		

ＳＴＥＰ５	**必要書類の印刷**	インターネット出願サイト等から必要書類等を印刷してください。
▼		
ＳＴＥＰ６	**必要書類の送付**	インターネット出願サイト等から印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を本学に送付してください。
▼		
ＳＴＥＰ７	**受験票の印刷**	出願書類が受理された方は、令和６年１０月１１日（金）の午後１時頃にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自がカラー印刷して、試験当日に持参してください。

（２）出願期間

インターネット出願の登録期間及び 入学者選抜手数料支払期間	出願に必要な書類の提出期間
令和６年９月１８日（水） ～ 令和６年１０月２日（水）午後５時まで	令和６年９月２５日（水） ～ 令和６年１０月２日（水）【期間内必着】

※出願に必要な書類の提出は、簡易書留速達郵便による郵送とし、期間内に到着したものに限り受理します。期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕を持って発送してください。郵送では間に合わないなど、真にやむを得ない事情がある場合には、事前に下記の宮城大学アドミッションセンターに相談の上、期間中の９時から１７時まで（土・日曜日及び国民の祝日は除く）に持参してください。

（３）問い合わせ先等

○インターネット出願サイトの操作方法・入学者選抜手数料支払い方法に関する問い合わせ先

（株）キャリタス「学び・教育」出願・申込サービス　サポートセンター

TEL：0120-202-079

○入試に関する問い合わせ先／出願書類提出先

宮城大学アドミッションセンター

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑１番地１

TEL：022-377-8333（平日 9:00～17:00）

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

（４）入学者選抜手数料について

入学者選抜手数料は１７，０００円です。インターネット出願サイトの支払方法を参照して、「ペイジー対応銀行ＡＴＭ」「クレジットカード」「インターネットバンキング」「コンビニエンスストア」のいずれかの方法でお支払いください。

なお、入学者選抜手数料の支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の金額は、支払い手続画面に表示されます。

（５）事前準備

インターネット出願する前に必ず確認してください。	
パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 ＜ブラウザ＞ ・Microsoft Edge 最新版　・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版　・Apple Safari 最新版 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブで同時申込操作はしないでください。 ＜スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ＞ ・iOS 12 以上　・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。 ※使用しているブラウザで表示が崩れることがある場合は、他のブラウザで確認してください。 ※Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合があるので、モバイル版を使用してください。
メールアドレスの用意及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 **@e-apply.jp** 出願時に登録したメールアドレスに、以下の４回メールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学者選抜手数料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※試験が終了するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真（データ）の用意	インターネット出願登録に当たって、顔写真データ（ファイル形式「jpeg、jpg、png、bmp」かつ、最大１０MB まで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください。（９ページ参照）
様式印刷の用意（プリンター、用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、Ａ４サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙（普通紙、ＰＰＣ用紙、ＯＡ共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）
角形 2 号封筒の用意	必要書類提出のために、市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。

※本学の「インターネット出願サイト」内の「事前準備」も併せて確認してください。

（6）出願書類等

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。

表中の「○」印の書類はインターネット出願サイトから印刷する書類、「●」印の書類は、専用サイト「J-Bridge System」より登録する書類です。

出願書類等	摘　　要
○入学願書	インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学者選抜手数料の支払い」完了後に A4 サイズでカラー印刷してください。
●自己申告書	「J-Bridge System」にアクセスし、所定の項目を入力し登録してください。 登録（入力）方法の詳細は「**4 （7） 出願手続の自己申告書の登録**」及び宮城大学ウェブサイトに掲載されている「J-Bridge System 受験生操作説明」（動画）（https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/guidelines/）を参照してください。 自己申告書は**印刷して大学に送付する必要はありません。**
調査書	ア．高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を卒業した者及び令和 7 年 3 月卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、高等学校長又は中等教育学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※ 調査書記入上の注意事項 ・「総合的な探究の時間の記録」欄には、総合的な探究の時間に行った学習活動及び各学校が自ら定めた評価の観点を記入した上で、生徒の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入する等、生徒にどのような力が身についたかを端的に記入してください。 ・そのほか高等学校段階で積み重ねられた「探究的な学習への取組」の成果がある場合は「備考欄」に記入してください。 ※研究開発学校やスーパーサイエンスハイスクールなど教育課程の特例が認められており、総合的な探究の時間を実施していない場合及び専門学科において課題研究等で全部代替している場合は、総合的な探究の時間に代わる活動の内容・評価を記した副申書(様式は任意)をもって代えることができます。 イ．高等専門学校第 3 学年修了者又は文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方については、文部科学省所定の調査書様式に準じて当該学校・施設の長が作成し、厳封したものを提出してください。 ウ．外国において、学校教育における１２年の課程を修了した方又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定したもの、国際バカロレア資格取得者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した方、高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者については、それぞれ当該学校・機関等が発行する修了証明書又は資格取得証明書及び成績証明書をもって、調査書に代えるものとしますので、それぞれ提出してください。なお、高等学校卒業程度認定試験合格者のうち、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合には、当該科目の高等学校等の成績証明書又は調査書も併せて提出してください。 上記書類を提出できない場合は、7 ページの「4 （3）問い合わせ先等」の「○入試に関する問い合わせ先／出願書類提出先」まで事前に連絡してください。
○出願書類提出用宛名シート	インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学者選抜手数料の支払い」完了後に A4 サイズでカラー印刷してください。（入学願書を印刷すると、同時に印刷されます。） 「出願書類提出用宛名シート」は、角形 2 号封筒の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。提出書類のチェック欄にチェックを記して、必要書類を漏れなく封入したことを確認してください。
出願書類提出用角形 2 号封筒	市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願に必要な書類を全て封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付して郵送、提出してください。

（７）出願手続の自己申告書の登録

出願書類の自己申告書はインターネット出願システムと連携した専用サイト「J-Bridge System」（電子申請システム）にアクセスし、入力・登録してください。インターネット出願画面にて出願登録を行った後、 J-Bridge System 連携を行う ボタンをクリックし、「J-Bridge System」にログインして登録を行います。登録するに当たり「J-Bridge System」の会員登録が必要となります。登録手順の詳細は、宮城大学ウェブサイトに掲載されている「J-Bridge System 受験生操作説明」（https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/guidelines/）を参照してください。なお、この登録は入学者選抜手数料支払後に行うことも可能です。

自己申告書の内容を入力後、 提出する ボタンをクリックすると申請登録が完了となります。**申請登録が完了すると入力・修正・削除ができなくなります**ので、注意してください。

自己申告書の登録期間は令和６年９月１８日から令和６年１０月２日までです。

※自己申告書に限り、紙媒体での提出は不要です。

「J-Bridge System」に登録がない場合は採点の対象になりません。必ず、インターネット出願システムでの出願登録後に「J-Bridge System」への登録も行ってください。

入力項目は以下のとおりです。

【自己申告書①】

表題 ： 「あなたのこれまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら説明してください。その上で、文章に表題もつけてください。」

（１）作成・入力にあたって

- 設問に従い、これまでの学習成果や、それによって得られた自分の強みについて、主体的に取り組み実践した過程を根拠に示しながら**８００字以内**（改行含む。）で説明してください。その上で、文章に表題を**５０字以内**でつけてください。
- 学習成果とは、各教科の学習（総合的な探究の時間を含む。）、ホームルーム活動、生徒会活動および学校行事での成果のことを指します。課外の部活動や学外活動（ボランティア活動）について述べる場合も、各教科の学習（総合的な探究の時間を含む。）やホームルーム活動、生徒会活動および学校行事と関連付けて作成してください。
- 学習成果は、「～を経験した」「～ができた」「～の成果を残した」という事実や結果の列挙だけではなく、そこに至るまでの過程や、どのように考えて活動したか、また、それらを通して自分が何を学んだか等を具体的に書いてください。
- 高等学校等での学修（例えば探究学習等）を通して得た「これだけは誰にも負けない」という自分の強みについて書いてください。
- 他人の言葉や書籍・インターネットから引用するのではなく、自分の経験を踏まえ、自分の言葉で書いてください。

（２）注意事項

- 文章入力のみ可。図や写真の挿入はできません。
- 資料（賞状、新聞記事、論文、CD 等）のデータ添付はできません。

【自己申告書②】

表題 ： 「あなたが、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために、「何を」「どのように」学びたいのかを計画し、文章で書いてください。」

（１）作成・入力にあたって

- 設問に従い、志望する学群・学類を卒業した後の目標を実現するために、「何を」「どのように」学びたいのかを計画し、**１０００字以内**（改行含む。）で文章を作成してください。
- 単に「～を学びたい」「～をしたい」ということを書くのではなく、なぜその分野に興味を持ったのか、興味を持ったことに対してこれまでにどのような活動をしたのか、などを具体的に書いた上で、入学後の学修に対する自らの展望を説明してください。
- 志望する学群・学類が持つ学問的意義や社会的位置づけを明確にしながら、志望分野への強い意欲や、自ら積極的に学ぼうとする姿勢等を、自分の言葉で書いてください。
- 大学での４年間の学びにとどまらず、大学卒業後の自分の将来の姿をイメージし、関連させながら書いてください。

（２）注意事項

- 文章入力のみ可。図や写真の挿入はできません。
- 資料（賞状、新聞記事、論文、CD 等）のデータ添付はできません。

（8）出願上の注意事項

①「**インターネット出願**」**は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。**入学者選抜手数料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に簡易書留速達郵便で本学に送付してください。また、自己申告書の登録も必ず完了する必要があります。

② 出願書類に不足がある場合は受理できませんので、出願の際には十分に内容を確認してください。書類に不備がある場合は、期限を定めて補正又は追加提出を指示しますが、期限内に補正又は追加提出がない場合は受理できません。なお、外国の学校への留学等により、調査書の各科目、教科の評定が記載されない場合等については、別途資料の提出をお願いすることがあります。

③ 出願後は、出願登録事項及び出願書類の変更は認めませんが、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。

④ 出願登録及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。また、合格発表後または入学後であっても、合格または入学を取り消すことがあります。

⑤ 一度受理した出願書類及び入学者選抜手数料は返還しません。

（9）受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和６年１０月１１日（金）午後１時以降（予定）に、インターネット出願サイトにログインして**カラー印刷**し、**切り取り線に沿ってはさみ等で切り**、試験当日に持参してください。

○インターネット出願では、入学者選抜手数料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。ログインは、インターネット出願サイトからログイン画面にアクセスして、画面の指示に従いログインしてください。

○**インターネット出願サイトでの出願登録、入学者選抜手数料の支払いだけでは、出願は完了しません。**「J-Bridge System」での自己申告書の登録、及び出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着して、出願が完了します。

○ご家庭にインターネット利用や印刷の環境が無い場合は、学校に相談しパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。以上の対応によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、令和６年９月１８日（水）までに、宮城大学アドミッションセンター（TEL022-377-8333）に相談してください。

5　インターネット出願時の登録の誤りについて

インターネット出願登録の際は、登録内容に誤りが無いよう確認しながら、慎重に操作を進めてください。それでも誤った情報を入力・登録してしまった場合は、下記のとおり対応してください。

（1）**入学者選抜手数料の支払い前**に誤りに気付いた場合

始めから申し込みをやり直してください。新たに【受付番号（12 桁の番号)】が通知されるので、新しい番号で入学者選抜手数料をお支払いください。大学へ郵送する書類は、必ず新しい受付番号で印刷した書類を提出してください。なお、誤って登録した受付番号の出願内容は、期限までに入学者選抜手数料支払いが無ければ自動的に削除されます。

（2）**入学者選抜手数料を支払った後**に誤りに気付いた場合

出願者側での修正登録や申し込みのやり直しはできません。誤って入力した項目により、下記①・②のとおり対応が異なります。

①「志望学類」の項目に誤りがあった場合

出願書類等送付前に下記（ア）～（エ）のとおり対応してください。赤字訂正による出願は受理しません。

（ア）下記アドミッションセンター宛てへメールにより、修正を依頼してください。その際は、修正を依頼する【受付番号】、【出願者氏名】、【登録時のメールアドレス】、【修正の内容】を記載してください。

（イ）大学側で登録内容を修正します。修正完了後は出願者宛てへメールにてお知らせします。

（ウ）大学からの修正完了メールを受信した出願者は、出願書類を出力し、依頼した項目が正しく修正されているかを確認してください。

（エ）確認後は通常どおり、出願期間内に出願書類等を郵送してください。

【宮城大学アドミッションセンター】

E-Mail：nyushi@myu.ac.jp

②上記①以外の項目に誤りがあった場合

郵送にて出願書類を受け取った後に、大学側でデータを訂正します。出願書類を印刷した後、誤入力部分を二重線（赤）で消して、正しい内容を赤字にて記入の上、郵送してください。その際、書類を受け取った大学側で訂正が必要な項目があることが識別できるよう、任意の付箋紙を立てて郵送してください。訂正が必要な項目があることが識別できるよう、任意の付箋紙を立てて郵送してください。

6　特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学では、障がいを有する等、特別の配慮を要する方が、出願書類の作成に際し、又は受験上及び修学上不利になることがないよう、必要な配慮を行っており、そのための事前相談を受け付けています。

（1）相談方法

・志願者本人又は保護者から、出願書類の作成に際し、又は受験上及び修学上配慮が必要な事項について相談してください。

・必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる保護者や出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。

（2）事前相談期間　　令和６年８月９日（金）まで

受験上の配慮については、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。なお、相談期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合にも、必ず、下記（3）の連絡先に問い合わせてください。

（3）連絡先

〒981-3298　　宮城県黒川郡大和町学苑１番地１

宮城大学 アドミッションセンター　TEL：022-377-8333　／　FAX：022-377-8282

7　選抜方法・試験日時等

（1）第１次選考

志願者全員に対して、下記による試験を実施します。

①　日程等

選抜期日		試験科目	内　容	評　価
令和６年 10月20日 （日）	9:50 ～10:40	レクチャー① （５０分）	講師によるレクチャー①（あるテーマに関する資料や事例の紹介・説明等）を受講します。	レクチャーレポートを対象とします。
	11:10 ～12:30	レクチャーレポート （８０分）	レクチャー①の内容に関するレポート（設問形式）を作成します。	

※時間については予定です。

② 選抜方法

上記の活動（レクチャー①、レクチャーレポート）を評価した成績、調査書及び出願書類の内容を総合的に判定して選抜を行います。

なお、受験しない科目があった場合、合格者とはなりません。

（2）第２次選考

第１次選考に合格した方に対して、下記による２日間の試験を実施します。

① 日程等

選抜期日		試験科目	内　容	評　価
１日目 令和６年 11 月 16 日 （土）	12:45 ～13:35	レクチャー② （５０分）	講師によるレクチャー②を受講します。レクチャー②の内容は、レクチャー①のテーマを踏まえ、多様な視点等を加えて発展させたものを予定しています。	主としてふりかえりレポートを対象とします。
	14:25 ～15:25	グループワーク （６０分）	レクチャー②に関連するテーマについて、少人数のグループで議論を行います。	
	16:10 ～17:30	ふりかえりレポート （８０分）	レクチャー②から一連の過程を振り返り、レポートを作成します。	
２日目 令和６年 11 月 17 日 （日）	9:15～	面接 （口頭試問を含む。） （２５分）	高校までの基礎的な学習成果を問う口頭試問及び志望する学類への意欲や資質を問う面接を受けます。口頭試問では、「英語」と「数学」に関する基礎的な内容の口頭試問を実施します。	口頭試問を重視します。

※時間については予定です。個別の面接時間は受験票印刷時に案内します。

② 選抜方法

２日間の活動（レクチャー②、グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）等）を評価した成績、調査書及び出願書類の内容を総合的に判定して選抜を行います。

なお、受験しない科目があった場合、合格者とはなりません。

（3）試験会場

宮城大学 大和（たいわ） キャンパス　宮城県黒川郡大和町学苑１番地１

（２０ページの「試験会場案内」を参照してください。）

（注）宮城大学には「大和（たいわ）キャンパス」と「太白（たいはく）キャンパス」の２つのキャンパスがありますが、令和７年度入学総合型選抜は、全ての学類について**「大和キャンパス」で試験を実施**します。特に、生物生産学類及びフードマネジメント学類を受験する方は、試験会場を間違えることのないよう注意してください。

※ 試験会場は、諸事情により変更される場合があります。その場合、変更後の試験会場はインターネット出願サイトから受験票を印刷する際にお知らせしますので、あらかじめご了承願います。受験の際は、受験票印刷の際に通知される試験会場を必ず確認してください。

（4）受験上の注意事項

① 「試験当日の注意事項」は、インターネット出願サイトから受験票を印刷する際にお知らせしますので、記載事項を十分確認して受験してください。

② 受験票とともに第１次選考の試験室への入室時間等を記載した「試験当日の注意事項」を発行しますので記載事項を十分確認して受験してください。また、第２次選考の「試験当日の注意事項」については、第１

次選考の合格者に対して第１次選考結果とともに通知します。

③ 試験当日は、必ず、インターネット出願サイトからカラー印刷し、所定の位置で切り取った本学の受験票を持参してください。なお、この受験票は入学手続の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管してください。

④ 試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、携帯用の鉛筆削器、腕時計（計時機能のみのもの）です。上履きは必要ありません。これら以外に許可するものについては、受験票と共に発行する「試験当日の注意事項」でお知らせします。

⑤ 試験会場内では携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の使用を禁止しますので、必ず電源を切ってください。

⑥ 試験時間中における受験者間の物品の貸借は、一切認めません。

⑦ 試験当日は学内の食堂及び売店は営業しておりません。

⑧ 試験会場へは、公共交通機関のほか、自家用車等による送迎も可能です。

⑨ 健康上の問題が生じた場合に備え、健康保険証を持参してください。

⑩ 事前に試験会場の下見はできますが、試験室を含む建物内への立ち入りはできません。

⑪ 試験会場の周辺で合格電報やレタックス等の受付、各種勧誘を行う者がいても、宮城大学とは一切関係がありません。トラブル等には十分注意してください。

（５）感染症等に関する注意事項

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験を認めません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた者は、この限りではありません。

なお、本学では上記理由による追試験は行いませんので、受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう感染予防・健康管理に十分ご留意願います。

8 合格発表

（１）第１次選考　**令和６年１１月１日（金）午後１時頃**

次の方法により発表します。その他の方法による合格者に関する問い合わせには、一切応じません。

① 第１次選考の合格者に対し、第１次選考合格通知書とともに第２次選考の「試験当日の注意事項」を送付します。

② 本学のウェブサイト（https://www.myu.ac.jp/）に合格者の受験番号を掲載します。

（２）第２次選考（最終合格者）　**令和６年１１月２９日（金）午後１時頃**

次の方法により発表します。その他の方法による合格者に関する問い合わせには、一切応じません。

① 第２次選考の合格者に対し、合格通知書を送付します。

② 本学のウェブサイト（https://www.myu.ac.jp/）に合格者の受験番号を掲載します。

（３）学校推薦型選抜及び一般選抜への出願について

選抜の結果、合格しなかった場合は、募集要項に定められた出願手続をとり、本学の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願することができます。出願手続については、必ず、本学ウェブサイトにて令和７年度入学「学校推薦型選抜 学生募集要項」及び「一般選抜 学生募集要項」を確認してください。

9 入学手続・初年度納入金等

（1）入学手続期間

令和６年１２月２日（月）～令和６年１２月９日（月）（期間内必着）

（2）入学金・初年度納入金等

種　　類		金　　額	納　入　時　期　等
入学金	宮城県内の方	282,000 円	（1）で規定する入学手続期間内 ※合格通知書とともに送付する入学金振込依頼書により最寄りの金融機関で納めてください。
	宮城県外の方	564,000 円	
授　業　料（年　額）		535,800 円	５月と１１月の２回に分けて納めてください。
諸経費（実費負担）		実習関連費用等は実費徴収します。 金額や項目は、入学年度や学群・研究科ごとに異なります。 詳細については、入学手続完了後にお送りする入学案内にてお知らせします（令和７年３月送付予定）。	

（注 1）入学金の区分で「宮城県内の方」とは、次のいずれかに該当する方をいい、住所の有無は住民票の写し又は戸籍の附票の写し（以下「住民票等」といいます。）で確認します。

ア：入学許可の日（合格発表の日）前１年間引き続き宮城県内に住所を有する（住民登録されている）方

イ：入学許可の日（合格発表の日）前１年間引き続き宮城県内に配偶者又は１親等の直系尊属が住所を有する（住民登録されている）方

（注 2）上記のほか、一定の基準にあったノートパソコンを購入するなどして準備する必要があります。機器の仕様の詳細については、入学を許可された方に別途通知します。

（注３）修学支援新制度に係る、新制度対象者の入学金の取り扱いは、１７ページ「**１０ 授業料等の減免・奨学金等**」をご確認ください。

（3）入学手続に必要な書類

提出書類等	摘要
① 誓約書兼保証書	・様式は合格通知とあわせて送付します。 ・保証人とすることができる方は、父母若しくはこれに準ずる方又は成人で独立して生計を営む方で、かつ日本国内に居住している方となります。
② 個人情報の取扱いに関する同意書	様式は合格通知とあわせて送付します。
③ 入学金振込証明書（大学提出用）	・入学金振込依頼書は合格通知とあわせて送付します。 ・入学金納付後に渡される領収書のうち、大学提出用を提出してください。

<table>
<tr><th>提出書類等</th><th>摘要</th></tr>
<tr><td>④ 住民票又は戻籍の附票の写し(以降､｢住民票等」と記載)
【該当者のみ提出】</td><td>・次の表において、入学金の区分で「宮城県内の方」のいずれかの項目に該当する場合、それぞれの右欄に記載する書類を提出してください（※１)。
・住民票の写しは住民登録市町村、戸籍の附票の写しは本籍地市町村で、合格発表日以降に発行された原本を提出してください。
<table>
<tr><th colspan="2">入学金の区分</th><th>提出書類</th></tr>
<tr><td rowspan="2">宮城県内の方</td><td>入学許可の日(合格発表日)前１年間引き続き宮城県内に住所を有する方</td><td>合格者本人の住民票等（※２、※３）</td></tr>
<tr><td>入学許可の日(合格発表日)前１年間引き続き宮城県内に配偶者又は１親等の直系尊属が住所を有する方</td><td>次の書類（２つとも必要）
・合格者の配偶者又は一親等の直系尊属の方の住民票等（※２、※３）
・合格者との関係を証する書類（戸籍抄本等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">宮城県外の方</td><td>なし</td></tr>
</table>
※１　宮城県内にお住いの場合であっても、住民票等で宮城県への住民登録が確認できない場合は「宮城県外の方」の入学金の金額となります。
※２　対象者が令和５年１１月２９日以降に県内市町村間で転入出されている場合の住民票の写しは、現在のものに加え、令和５年１１月２９日以降の県内在住が証明できるまでさかのぼって、前住民登録市区町村が発行する「消除された住民票の写し」を提出願います。
※３　戸籍の附票の写しについては、本籍地の市区町村で電算化等の改製を最近行った場合でも、令和５年１１月２９日以降の住所（住定年月日を含む。）が確認できるものを提出願います。</td></tr>
<tr><td>⑤本学受験票</td><td>手続完了後、返却します。</td></tr>
<tr><td>⑥ 卒業証明書又は修了証明書</td><td>「3 出願資格」について、出願時点で「見込み」となっている方は、令和７年３月２８日（金）までに卒業証明書、修了証明書又は授与証明書を提出してください。</td></tr>
</table>

（４）入学手続

① 入学手続に必要な書類は、郵送又は直接持参により提出してください。

② 郵送の場合は必ず「簡易書留速達」により郵便局の窓口から送付してください。入学手続期間内必着とします。入学手続期間を過ぎて到着したものは受理できませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。

③ 直接持参する場合の受付時間は､午前９時から正午まで及び午後１時から午後５時までです｡土曜日、日曜日及び国民の祝日は受け付けません。

④ いかなる理由があっても、入学手続期間中に必要書類の提出、受理がなされない場合は、入学手続未完了として取扱い、合格者としての権利が消失します。入学手続に必要な書類に不足がある場合や書類に不備がある場合は受理できませんので、書類を提出する際は十分に内容を確認してください。また、保証人については、事前に必ずご調整ください。

⑤ 一度受理した入学手続書類及び入学金は、返還しません。(過誤納の場合は除きます。)

⑥ 入学手続完了後、やむを得ず入学を辞退する場合は、アドミッションセンターに連絡の上、令和７年２月１９日（水）までの必着にて入学辞退届（任意様式：学群名、受験番号、住所、氏名、入学を辞退する旨を記載し､押印してください。)を提出してください｡入学辞退届を本学へ提出しない場合には、国公立大学一般選抜前期、中期及び後期日程試験の合格者となりえません。

⑦ 令和７年４月１日以降は入学者として取り扱うため、退学手続をしてください。なお、別途、授業料

を納付する必要があります。

（5）入学手続先

〒981-3298　宮城県黒川郡大和町学苑１番地１

宮城大学 アドミッションセンター（大和キャンパス）　　電話　022-377-8333

（6）その他の注意事項

① 本学の入学手続を完了した方は、これを取り消して他の国公立大学・学部への入学手続はできません。また、同様に他の国公立大学・学部の入学手続を完了した方は、本学への入学手続はできませんので注意してください。

② 入学手続を完了し、入学を許可された方であっても、令和７年３月末日までに高等学校等を卒業・修了できない場合は、入学許可を取り消します。

１０ 授業料等の減免・奨学金等

本学は、国が実施する高等教育の修学支援新制度の対象機関となっております。本制度は、認定された学生に対し、支援区分に応じて、日本学生支援機構の給付奨学金の支給と合わせて授業料及び入学金を減免する制度です。（手続については下記（１）及び（２）に記載）

（1）国の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金

① 高校を通じて申込を済ませ（予約採用）、「予約採用候補者」の通知を受けた方は、入学後に「進学届」を日本学生支援機構に提出します。その手続の方法は大学事務局から案内します。

② 大学に入学してからも、給付奨学金の申込ができます（在学採用）。大学事務局が開催する「在学採用説明会」で案内します。

【参考 令和６年度の支援区分及び日本学生支援機構給付奨学金（月額）】

給付奨学金の支援区分	給付月額　自宅通学	給付月額　自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200 円	66,700 円
第Ⅱ区分	19,500 円	44,500 円
第Ⅲ区分	9,800 円	22,300 円
第Ⅳ区分	7,300 円	16,700 円

（2）国の修学支援新制度による入学金・授業料減免

① 入学手続時においては、入学手続期間内に所定の入学金を一旦納付いただきます。

② 高校を通じて給付奨学金の申込を済ませ、「予約採用候補者」の通知を受けている方は、入学後の「減免申請」の手続（大学事務局から案内します。）により、入学金減免額を還付するとともに、授業料の減免を行います。（１）①の、「進学届」の日本学生支援機構への提出が必須条件です。

③ 大学入学後に給付奨学金を申し込んで採用された学生に対しても、授業料の減免を行います。ただし、入学金減免額の還付は、入学後すぐの５月～6 月の申込期間に手続をした学生に限ります。

（１）②の、入学後に開催する「在学採用説明会」で、申込書類の配付と詳しい説明を行います。

【参考　令和６年度の支援区分及び入学金・授業料減免の上限額（年額）】

給付奨学金の支援区分	入学金減免額（※）	授業料減免額
第Ⅰ区分	282,000 円	535,800 円
第Ⅱ区分	188,000 円	357,200 円
第Ⅲ区分	94,000 円	178,600 円
第Ⅳ区分	70,500 円	134,000 円

※“宮城県内の方”も“宮城県外の方”も、入学金の減免額（還付額）は同じ金額です。

“宮城県外の方”の入学金は 564,000 円です。第Ⅰ区分（全額免除）の方でも入学金減免額 282,000 円との差額、282,000 円は入学金として納付いただくことになります。

（3）宮城大学の授業料納付猶予・分割納付制度

経済的理由により、本来の納付期限までに授業料の一括納付が困難な学生に対し、納付猶予や分割納付の制度があります。

（4）日本学生支援機構の貸与奨学金

① 高校を通じて申込を済ませ（予約採用）、「予約採用候補者」の通知を受けた方は、入学後に「進学届」を日本学生支援機構に提出します。その手続の方法は大学事務局から案内します。

② 大学に入学してからも、貸与奨学金の申込ができます（在学採用）。大学事務局が開催する「在学採用説明会」で案内します。

【参考　令和 6 年度の日本学生支援機構貸与奨学金（月額）】

貸与奨学金の種類	貸与月額　自宅通学	貸与月額　自宅外通学
第一種奨学金（無利子）※	45,000 円（最高月額） 3 万円、2 万円	51,000 円（最高月額） 4 万円、3 万円、2 万円
第二種奨学金（有利子）	2 万円から 12 万円の間で、1 万円単位での選択 （自宅通学・自宅外通学の区別はありません。）	

※ 日本学生支援機構給付奨学金と併せて採用された場合、第一種奨学金の貸与額が減額調整されます。それを「併給調整」といい、貸与額が 0 円となることもあります。

（5）その他の奨学金

各種団体等の奨学金制度等、大学に案内が届いたものは、掲示等でお知らせします。

（6）住居

宮城大学が設置する学生寮はありません。

アパートに関して、取扱業者等の情報を宮城大学生協が提供しています。

１１　入学準備

宮城大学では、総合型選抜合格者に対して、下記のとおり、入学準備のための取組を実施します。

（1）大学入学共通テスト自己採点結果の報告

入学前の学修や本学入学後の指導の参考とするため、令和 7 年度大学入学共通テストにおける下記の教科・科目を受験し、自己採点結果を指定の期日までに報告する必要があります。総合型選抜出願時に、必ず、大学入学共通テストの出願期間を確認してください。自己採点結果の提出方法・期限等の詳細については、合格者に対して後日通知します。

＜指定受験教科・科目＞

国　語　：『国語』必須
地理歴史・公民：『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』『歴史総合，世界史探究』
『地理総合／歴史総合／公共』『公共，倫理』『公共，政治・経済』から 1 科目を選択
理　科　：『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において 2 出題範囲を選択
又は『物理』『化学』『生物』『地学』から 1 科目を選択
数　学　：『数学Ⅰ，数学Ａ』必須
『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』必須
外国語　：『英語（リスニングを含む。）』必須
情　報　：『情報Ⅰ』必須

○旧教育課程履修者等に対する経過措置

旧教育課程履修者等に対する経過措置について、次のとおり取り扱います。なお、旧教育課程履修者等とは、令和５年７月２１日付けで独立行政法人大学入試センターから公表の「令和７年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの出題教科・科目の出題方法等」別表３によります。

① 地理歴史・公民［※］

地理歴史の経過措置科目『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、公民の経過措置科目『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理，旧政治・経済』の選択を可とします。

※新教育課程による出題科目（ページに記載の科目）と経過措置科目を組み合わせて選択することはできません。

② 数学

数学の経過措置科目『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』の選択を可とします。

② 情報

情報の経過措置科目『旧情報』の選択を可とします。

（２）入学前教育プログラムについて

これまで、高等学校での学習成果の総まとめや、大学入学後の学修に向けた準備を目的として、「セミナー」や「課題学習」等を実施してきました。今年度の入学前教育プログラムの内容については、現在検討中のため、後日お知らせいたします。

１２ 試験成績の開示

総合型選抜については、受験者の個人成績の開示は行いません。

１３ 試験成績等の個人情報について

（１）入学者選抜試験実施に伴い、本学が保有した試験成績等を含む個人情報については、入学者選抜に関する業務のほか、入学前教育や入学後の教務・学生支援及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収、統計情報のとりまとめや調査・分析等の大学運営に資する業務に利用します。なお、統計情報や調査・分析結果の公表に際しては個人が特定できないよう処理を行います。また、各業務については、本学から委託業務を受けた業者（以下、受託業者という。）において実施することがあります。業務委託に当たっては、受託業者に対して、委託する業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

（２）国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、本学入学試験の合格者について、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

【 試 験 会 場 案 内 】

※注）宮城大学には２つのキャンパスがあります。
太白（たいはく）キャンパスでは試験を行いませんので、間違いのないよう、注意してください。

試験会場：宮城大学 大和（たいわ） キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑１番地１　　電話 022-377-8333

【ＪＲ仙台駅からの交通案内】

ＪＲ仙台駅から公共交通機関を利用する場合は、(1)仙台駅発着路線バス又は(2)仙台市地下鉄南北線を利用する方法があります。

(1) 仙台駅発着路線バス（宮城交通バス）を利用する方法

ＪＲ仙台駅西口のバスプール２番から、路線バス（宮城交通）「宮城大学・仙台総合医療大学校」行きに乗車してください。県庁市役所・泉アウトレットを経由する路線と上杉通・泉アウトレットを経由する路線のどちらも乗車可能です。宮城学院、泉アウトレットを経由し、所要時間約５０分で「宮城大学・仙台総合医療大学校前」バス停留所に到着します。

(2) 仙台市地下鉄を利用する方法

① ＪＲ仙台駅からは地下１階の自由通路を通り、隣接する仙台市地下鉄仙台駅に向かい、地下鉄南北線「泉中央」行きに乗車してください。所要時間約１５分で泉中央駅に到着します。

② 仙台市地下鉄泉中央駅で地下鉄を下車し、路線バス（宮城交通）に乗り継ぐか、又は、タクシーを利用してください。

ア 路線バス（宮城交通）を利用する場合は、東１出口からバスプール３番に向かい、「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）に乗車してください。宮城大学を経由しない路線もありますのでご注意ください。桂・高森地区経由で所要時間約３０分、アウトレット・JCHO 病院地区経由で所要時間約３５分です。「宮城大学・仙台総合医療大学校前」バス停留所で降車してください。

イ タクシーを利用する場合、泉中央駅のタクシープールは駅舎２階北側にあります。

宮城大学にはキャンパスが２つあるほか、仙台市には「みやぎ台」という地区がありますので、**行き先を告げる際は、「泉パークタウン隣の宮城大学」とはっきり伝えてください。**

泉中央駅から所要時間約２０分です。